



日付	2018/03/14	天気	晴れ
現地時間	AM01:10	日本時間	PM02:10
本日の活動	2018.3.14 ポストン研修3日目	Report No.	7

Events & Photos

1日の締めくくりとして、今日はポストン在住の北嶺卒業生との交流会がありました。お越しいただいた方の紹介とお話しいただいた内容について記します。

・3期生北越さん

上智大学から海外の大学院を経て、現在ポストンの企業に勤務されています。

北越さんは、北嶺時代のご経験を踏まえ、早いうちに様々なことに対しいっぱい悩んで、最終的には自分の「本当にやりたいこと」を見つけ、それを全力で追求してほしいというメッセージを下さいました。

・8期生河野さん

北海道大学医学部からハーバード大学院付属病院の研究室で膠原病の研究をされています。

河野さんからは、日本とアメリカの研究の違いについて、また大学では勉強以外に自分を高めることを追求していくことの大切さについてお話をいただきました。

・16期中出さん

東大を経て金融関係の企業に所属しながらMITで経済の研究をされています。

中出さんのお話は、MITの紹介に始まり、多様な分野の研究者やグローバルに活躍する商社マンとの出会い、金融関係やビジネスの話などを通して、世の中には幅広く興味深い道があるので、広い視野で可能性を狭めずに将来の進路を考えてほしい、というものでした。

・19期武田さん

ウェズリアン大学を卒業後、現在はハーバード経営大学院に所属し研究をしながら、学生に教えることもされています。

武田さんからは、大学の講義形式で生徒にインタビューをしながら、「感覚的にただ『すごいな』と思うだけではなく、自分の頭で考えて、なぜそう感じたのか、頭で処理してほしい。」「『自分は何が好きか』『何に没頭できるか』それを出来るだけ早く見つけてほしい。見つかったらそれを誰にも負けないところまで徹底的に鍛えることが大切である」というものでした。



・6期生吉田さん

河野さんと同じくハーバード大学院付属病院の研究室で膠原病の研究をされています。

吉田さんからは、アメリカと日本の教育観の違いについてのお話がありました。どちらかが優れているということではなく、日本の教育が優れた部分も多くあるのでぜひ、自分に自信を持って動いてほしいということでした。

続いて行われた質疑応答でも積極的な質問が多く出て、時間が足りないほどでした。交流会終了後も多くの生徒が先輩のところに集まり、さらに質問をしたり、連絡先を交換したりしていました。

生徒代表の森くんからは、「自分と同じ北嶺を卒業した先輩方がこのように世界を舞台に活躍されていることは自分にとってもおおきな励みになった。残りの修学旅行も高い意識で充実させていきたい。」というお礼の言葉が述べられました。

今回の経験は、29期生にとって今後の大きな糧になる、忘れられない時間となりました。卒業生の皆さんにはお忙しい中、後輩たちのために集まっていたいただき、本当にありがとうございました。「北嶺ファミリー」の絆の強さが見られました。

(文責 29期生学年団)

